

このコラムについて、10月には選挙のため書くことができず、先月も就任のごあいさつをさせていただいたため2カ月お休みしておりました。先日友人から「もうコラムは書かないのか」と言われ、申し訳なく思いましたが、また新たな気持ちで今月から書かせていただきます。

すっかり朝晩は寒くなり、秋からあつという間に冬の気配を感じるようになりました。今年の秋は、気候変動の影響なのか庭の芝が思うように育たず、鈴虫やキリギリスの歌声があまり聞こえてこなかったように思います。人間がもたらした環境の変化に虫たちは気付いているのか、自然を破壊するのは簡単でも自然を復活させることは容易でない

市長コラム

大切な自然を守る

と考えさせられます。近年、世界規模で気候変動対策についての取り組みが活発に行われていますが、脱炭素社会構築には温室効果ガス排出量削減とともに、森林の育成管理が重要であると考えます。森林の持つ公益的な機能である、二酸化炭素を吸収し酸素を供給するということは、人間を含む動物が生きていく上で重要なことであります。「水と安全はタダ」といわれることがありますが、同じように酸素も当たり前のように取り入れることができるので、改めて森林の大切さをもっと理解する必要がありますと思います。森林を育成管理することは公益的な事業であります。また水田も米を育てるだけでなく、治水能力による災害の軽減や、大切な水を効果的に海に流すなど、水をさまざまな面でコントロールする働きもあります。しかし米の価格下落や後継者不足などから耕作放棄地が目立



先日、11月23日の勤労感謝の日になんで、串間保育園の年長児の皆さんが似顔絵とお菓子を贈呈してくださいました

先日は、11月23日の勤労感謝の日になんで、串間保育園の年長児の皆さんが似顔絵とお菓子を贈呈してくださいました。苗がダメになってしまわないか心配です。まずは播種（種まき）・育苗からのスタートですが、猛暑はどこへ行ったのか2週間連続の曇り日です。でも種から発芽が出そろったときの愛らしさは忘れられませんがね。さて2週間経ちセルトレーからポットに鉢上げするころには、今度はガツリと夏日！猛暑お帰りのさい。育苗場所が風通しの悪いガラス温室で日中気温は40度、苗がダメになってしまわないか心配です。

地域おこし協力隊活動日記



No.56 ピーマン 始まりました



配になりながらの水やり。水のあげ過ぎはよくないけれど、少なくともダメだし適切な量とは何が正解なんだろう？と考えている内に定植時期に。

このときになって僕は過ちに気が付きました。それは苗が徒長してひょろ長くならないように、葉が大きく作れるようにということばかりに気がとられて、根張りなどの程度進んでいるのか定期的な確認をしていなかったのです。ポットから出して確認すると上根ばかり巻いていて下の根が足りていない。そう、結果的に水やりが全然足りていなかったのです。諸事情もあり定植時期もずらせないで根回りが足りないまま定植することに。これだけでもへこんでいたのに定植した約300株の1/3が萎れていく事態になり、流石にこれには半ベソです。早々に農業の難しさを突き付けられましたね。他にもいろんな困難はありますが、個性豊かなピーマンたちは元気に生長してくれて、今では立派な実をつけて収穫できています。



4 串間中3年生が市に地域活性化案を提言

串間中学校の3年生が市に対して地域活性化に向けた政策を提言する「くしま未来会議」が市議会本会議場で行われました。「まちづくり、医療・福祉、教育」など5つのグループの代表約40人が提言。議事進行役も務めました。まちづくりのグループは、商店街の利用者向上のため、さまざまな飲食業者のキッチンカーを呼び込み、若い世代も気軽に立ち寄れる場所にするアイデアを紹介。その他のグループからは、観光客増加のためにバイオマス発電の自然エネルギーを使用した新たなイルミネーションスポットを作ることや、市内各病院の利用向上のため、各病院の事前予約や待ち時間の確認などができるスマートフォンアプリを制作するなどの提言もありました。川崎彩葉さんは「緊張したがとてもいい経験ができた。ぜひ提言を実現してもらいたい」と話していました。



議事進行役も務めました



地域活性化策を提言する生徒ら



1組



2組



3組



4組